

猿の惑星：創世記（ジェネシス）（2011）

RISE OF THE PLANET OF THE APES

メディア 映画

ジャンル SF アクション サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2011/10/07

公開情報 FOX

映倫 G

【キャッチコピー】

これは
人類への
警鐘

【解説】

ピーエル・ブール原作のSF映画の金字塔「猿の惑星」を基に、その起源となる人類文明崩壊への道のりを明らかにしていくSFアクション大作。現代のサンフランシスコを舞台に、最新の生体実験によって脳が飛躍的に発達した一頭のチンパンジーが、やがて自我に目覚めて人類に反旗を翻すさまを、シリーズ初のパフォーマンス・キャプチャー技術を駆使したリアルなVFX映像で描き出す。主演は「127時間」のジェームズ・フランコ、共演に「スラムドッグ\$ミリオネア」のフリーダ・ピント。また、猿のメインキャラクター“シーザー”役には「ロード・オブ・ザ・リング」のゴラムや「キング・コング」などで高い評価を受けたパフォーマンス・キャプチャー演技の第一人者アンディ・サーキス。監督はハリウッド期待の新鋭ルパート・ワイアット。

アメリカ、サンフランシスコ。製薬会社の研究所でアルツハイマー治療の研究をする神経科学者、ウィル・ロッドマンは、開発中の新薬を投与したチンパンジーの知能が驚異的に発達したことを確認し、その成果を発表する。しかし、そのチンパンジーは突然暴れ出し警備員によって射殺されてしまう。事態を重く見た所長によってプロジェクトは中止を余儀なくされるが、射殺されたチンパンジーは妊娠中だったことから、ウィルは生まれたばかりの赤ん坊を秘かに引き取るとシーザーと名付け、自ら育てることに。そして、次第にウィルとシーザーのあいだに人間の親子のような絆が芽生えていく。その一方で、シーザーは並外れた知性を発揮し始めていく。ところが、すっかり成長したシーザーはある日、ウィルの父を助けようとして隣人とトラブルを起こしてしまう。それが原因でウィルと引き離され、類人猿保護施設の檻の中で屈辱と絶望の日々を送ることになるシーザーだったが…。

【クレジット】

監督	ルパート・ワイアット	Rupert Wyatt
製作	リック・ジャッファ アマンド・シルヴァー ピーター・チャーニン ディラン・クラーク	Rick Jaffa Amanda Silver Peter Chernin Dylan Clark
製作総指揮	トーマス・M・ハメル	Thomas M. Hammel
脚本	リック・ジャッファ アマンド・シルヴァー	Rick Jaffa Amanda Silver
撮影	アンドリュー・レスニー	Andrew Lesnie

allcinema

プロダクションデザイン	クロード・パレ	Claude Pare	
衣装デザイン	レネー・エイプリル	Renee April	
編集	コンラッド・バフ	Conrad Buff	
	マーク・ゴールドブラット	Mark Goldblatt	
音楽	パトリック・ドイル	Patrick Doyle	
シニア視覚効果監修	ジョー・レッテリ	Joe Letteri	
出演	ジェームズ・フランコ	James Franco	ウィル・ロッドマン
	フリーダ・ピント	Freida Pinto	キャロライン
	ジョン・リスゴー	John Lithgow	チャールズ・ロッドマン
	ブライアン・コックス	Brian Cox	ジョン・ランドン
	トム・フェルトン	Tom Felton	ドッジ
	アンディ・サーキス	Andy Serkis	シーザー
	デヴィッド・オイェロウォ	David Oyelowo	ジェイコブス
	タイラー・ラビーン	Tyler Labine	フランクリン
	ジェイミー・ハリス	Jamie Harris	ロドニー
	デヴィッド・ヒューレット	David Hewlett	ハンシカー
	タイ・オルソン	Ty Olsson	ジョン・ハミル
	マディソン・ベル	Madison Bell	アリス・ハンシカー
	マケナ・ジョイ	Makena Joy	アリス・ハンシカー (十代)
	カリン・コノヴァル	Karin Konoval	モーリス
	テリー・ノタリー	Terry Notary	ロケット
	リチャード・ライディンクス	Richard Ridings	バック
	デヴィン・ダルトン	Devyn Dalton	コーネリア
	クリス・ゴードン	Chris Gordon	コバ
	チェラー・ホースダル	Chelah Horsdal	イレーナ